

**地域福祉に関する高齢者クラブ会長  
アンケート調査結果報告書**

**令和5年3月**

# 目次

## I 調査概要

1. 調査目的 .....	1
2. 調査対象者 .....	1
3. 調査方法と調査時期 .....	1
4. 回答率 .....	1

## II 調査回答集計

問1 構成人数について .....	2
問2 活動年数について .....	3
問3 構成員の平均年齢について .....	4
問4 活動の分野について .....	5
問5 活動頻度について .....	6
問6 他のグループ・団体や公共機関との交流や協力関係について .....	7
問7 活動を行ううえで困っていることについて .....	8
問8 自治会など協力し、ボランティア活動や地域での助け合いについて .....	9
問9 地域活動の形態について .....	11
問10 地域福祉活動の形態について .....	12
問11 コロナ過においてイベント中止の判断について.....	13
問12 コロナ過以前と比較して活動の変化について.....	14～15
問13 今後取り組みたい地域活動について.....	16～17
問14 今後必要な取り組みについて .....	18
問15 地域福祉推進のご意見ご要望について .....	19～21

# 地域福祉に関する高齢者クラブ会長アンケート調査集計報告

## I 調査概要

---

### 1. 調査目的

平成31年3月に市地域福祉計画・地域福祉活動計画（以下「本計画」とする。）を策定いたしました  
が、その後の新型コロナウイルス感染症の影響による社会変化、複雑・複合化する地域の福祉課題等  
に対応するため、今般本計画の改正を予定しています。本計画の改正に伴い、高齢者クラブ会長の皆様が  
日頃のクラブ活動の中で特に福祉の分野でお考えになっていることを伺い、本計画改定に反映させるこ  
とを目的としています

### 2. 調査対象

市内高齢者クラブ会長 64名

### 3. 調査方法と調査時期

調査方法：郵送配布、郵送回収

調査時期：令和5年1月～2月

### 4. 回答率

85.70% (56/64クラブ)

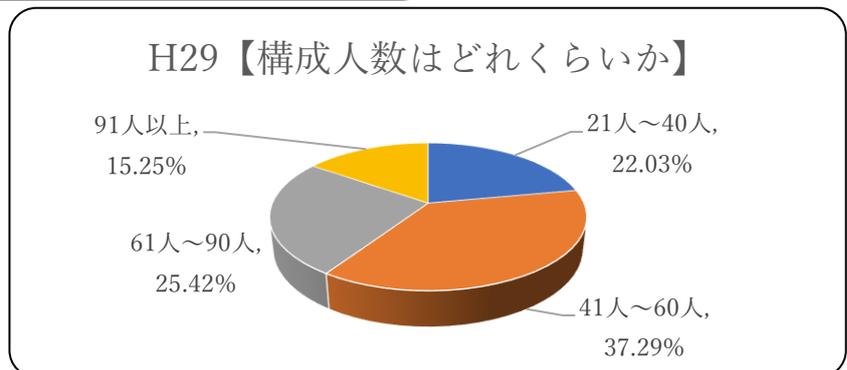
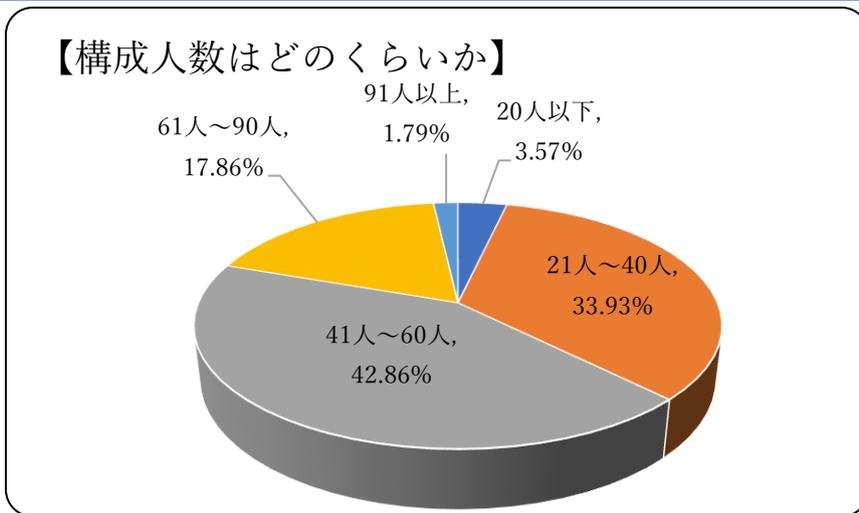
中学区	送付数	回答数	回答率
勝田一中	11	10	90.91%
勝田二中	10	8	80.00%
勝田三中	8	8	100.00%
佐野中	5	4	80.00%
大島中	7	7	100.00%
田彦中	5	5	100.00%
那珂湊中	15	13	86.67%
美乃浜学園	3	1	33.33%
合計	<b>64</b>	<b>56</b>	<b>87.50%</b>

---

## II 調査回答集計

問1 貴団体の構成人数はどのくらいですか。(1つ)

「41人～60人」が42.86%と一番多い。次いで「21人～40人」が33.93%、「61人～90人」が17.86%、「20人以下」が3.57%、「91人以上」が1.79%となっている。



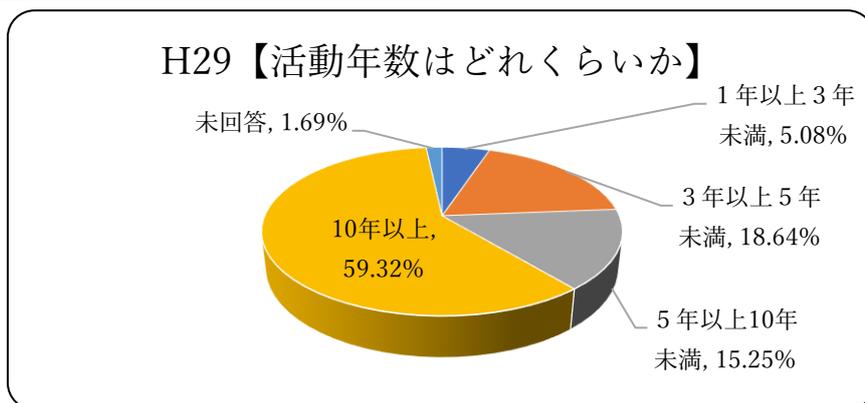
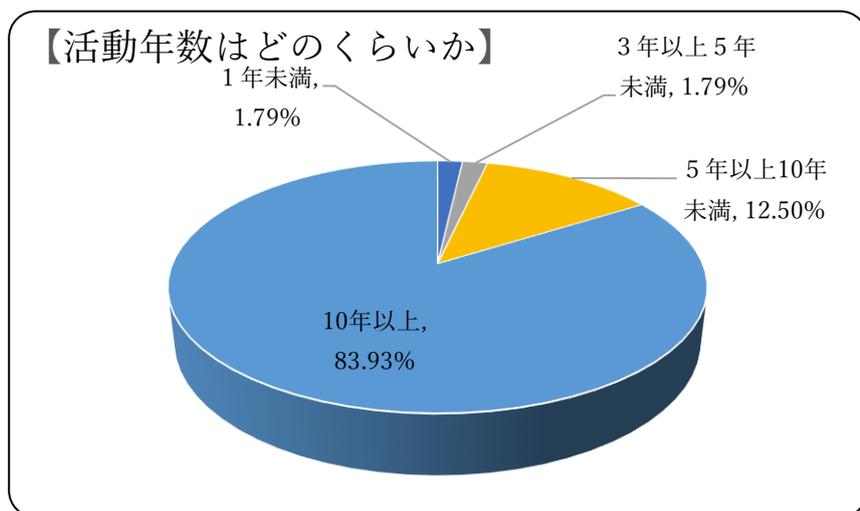
問1 中学区毎の内訳

「20人以下」の学区がではじめ、会員数の減少に伴い構成人数の割合が下がってきている。また、5年前はまんべんなく分布していたが、全中学区の構成人数の割合が下がっている。

回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜学園		
20人以下	1	0	0	0	0	0	1	0	2	3.57%
21人～40人	0	3	2	1	3	0	9	1	19	33.93%
41人～60人	6	4	4	2	2	3	3	0	24	42.86%
61人～90人	2	1	2	1	2	2	0	0	10	17.86%
91人以上	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1.79%

問2 貴団体の活動年数はどのくらいですか。(1つ)

「10年以上」が83.93%と大半を占めている。次いで「5年以上10年未満」が12.50%、「1年未満」と「3年以上5年未満」が1.79%となっている。



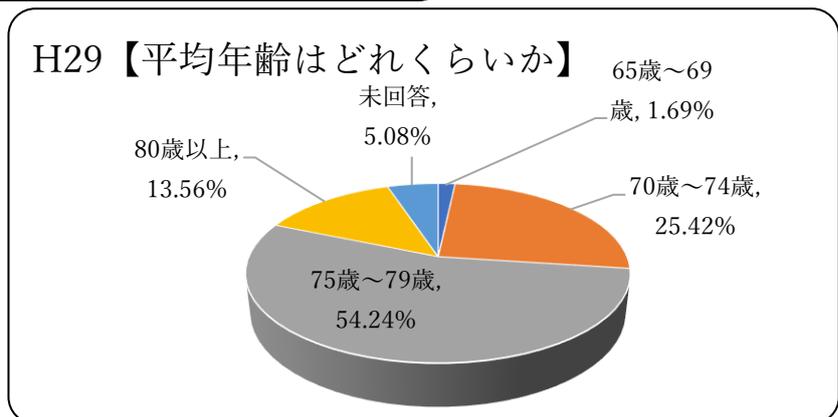
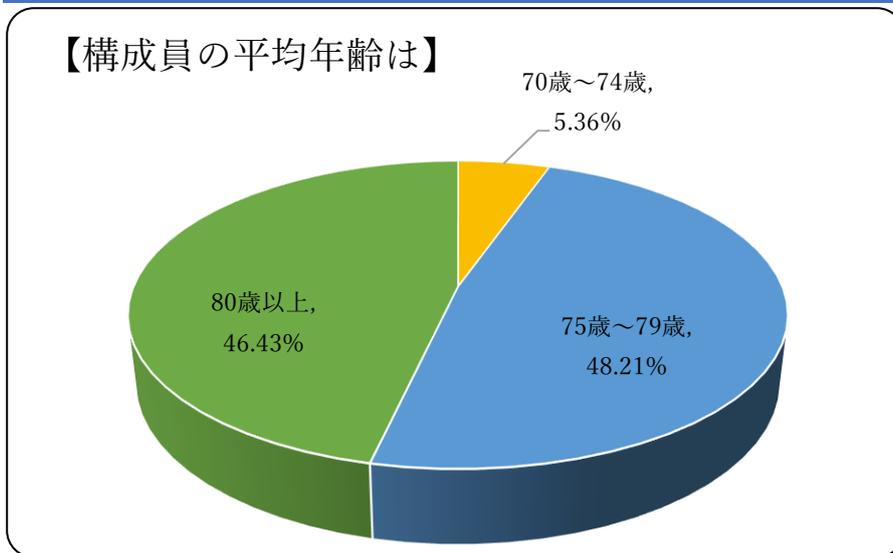
問2 中学区毎の内訳

全中学区共に、「5年以上10年未満」と「10年以上」が一番多くなってきている。5年前と比べると59.32%から83.93%と増え「10年以上」継続的に活動を行っている。

回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜学園		
1年未満	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1.79%
1年以上3年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
3年以上5年未満	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1.79%
5年以上10年未満	0	1	1	0	2	1	1	1	7	12.50%
10年以上	10	7	7	4	5	4	10	0	47	83.93%

問3 貴団体の構成員の平均年齢はどのくらいですか。(1つ)

「75歳～79歳」が48.21%、「80歳以上」46.43%と大半を占めている。「70歳～74歳」5.36%となっている。



問3 中学区毎の内訳

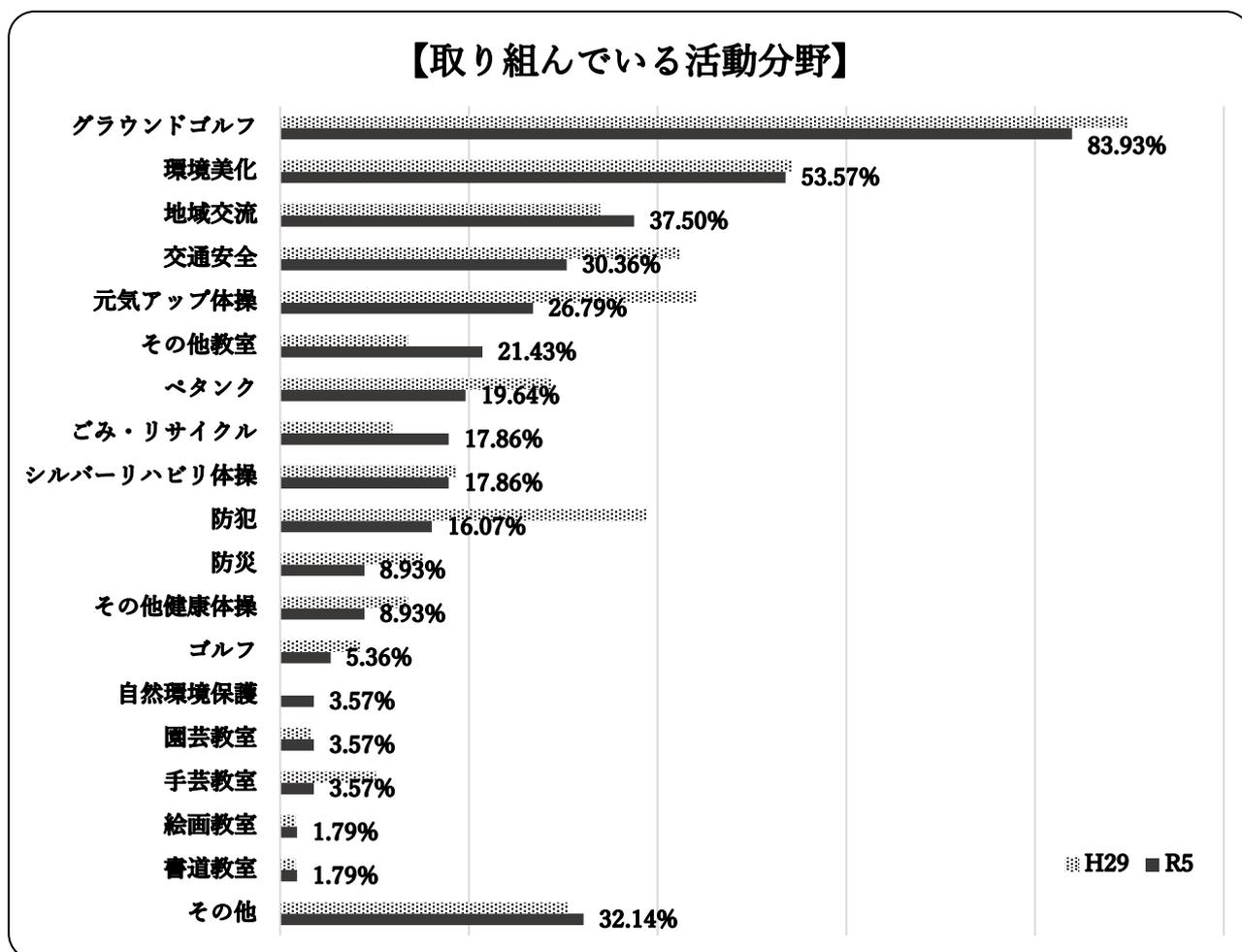
全中学区で「75歳～79歳」と「80歳以上」が一番多くなっている。

5年前は、「75歳～79歳」が54.24%が一番高かったが、全中学区で高齢化が進んでいる。

回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜学園		
60歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
60歳～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
65歳～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
70歳～74歳	0	0	0	0	1	1	1	0	3	5.36%
75歳～79歳	4	5	6	1	4	1	6	0	27	48.21%
80歳以上	6	3	2	3	2	3	6	1	26	46.43%

問4 貴団体で取り組んでいる活動の分野をお答えください。（あてはまるものすべて）

「グラウンドゴルフ」が83.93%と多数を占めている。次いで「環境美化」が53.57%と過半数を占め、次いで「地域交流」が37.50%、「交通安全」が30.36%、「元気アップ体操」が26.79%と続いている。



**【その他の教室】** の意見

カラオケ・輪投げ・前渡小立哨当番(月・金)・民舞教室・ゲートボール  
フォークダンス・絵手紙・そば打ち・囲碁・将棋・ウォーキング

**【その他の健康体操】** の意見

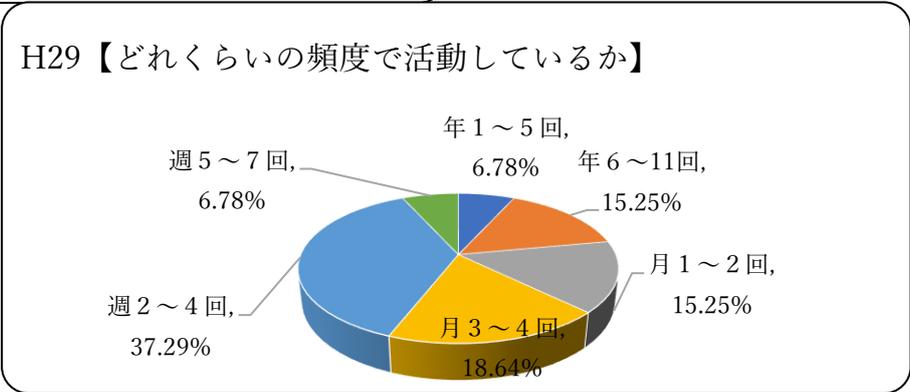
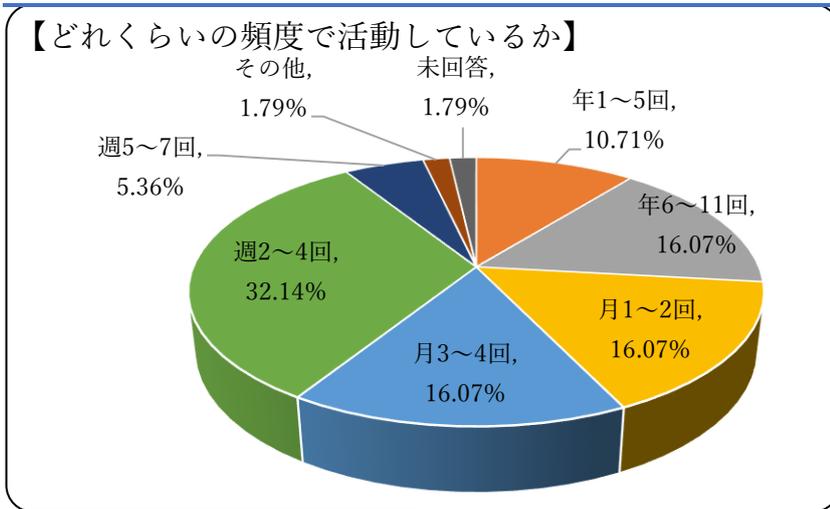
ニュースポーツ・いきいき体操・輪投げ・カラオケ

**【その他】** の意見

輪投げ・ウォーキング・民謡クラブ・福祉バス移動研修・食事会・スポーツ大会  
年4回サロン開催・年2回出前教室・年2回音楽鑑賞会・誕生会・映写会・ビンゴゲーム  
カラオケ・知識教養講座・卓球・春秋に集いの実施・春秋に会員(高齢)訪問・銭太鼓  
誕生会・各サークル年に一度社会奉仕・DVDによる勉強会(主に歴史・文芸)・共同農園・公園除草

問5 貴団体の活動は、おおよそどれくらいの頻度で行っていますか。(1つ)

「週2～4回」が32.14%と一番多い。次いで「月1～2回」「月3～4回」「年6～11回」が16.07%  
次いで「年1～5回」が10.71%、「週5～7回」が5.36%、「その他」が1.79%と続いている



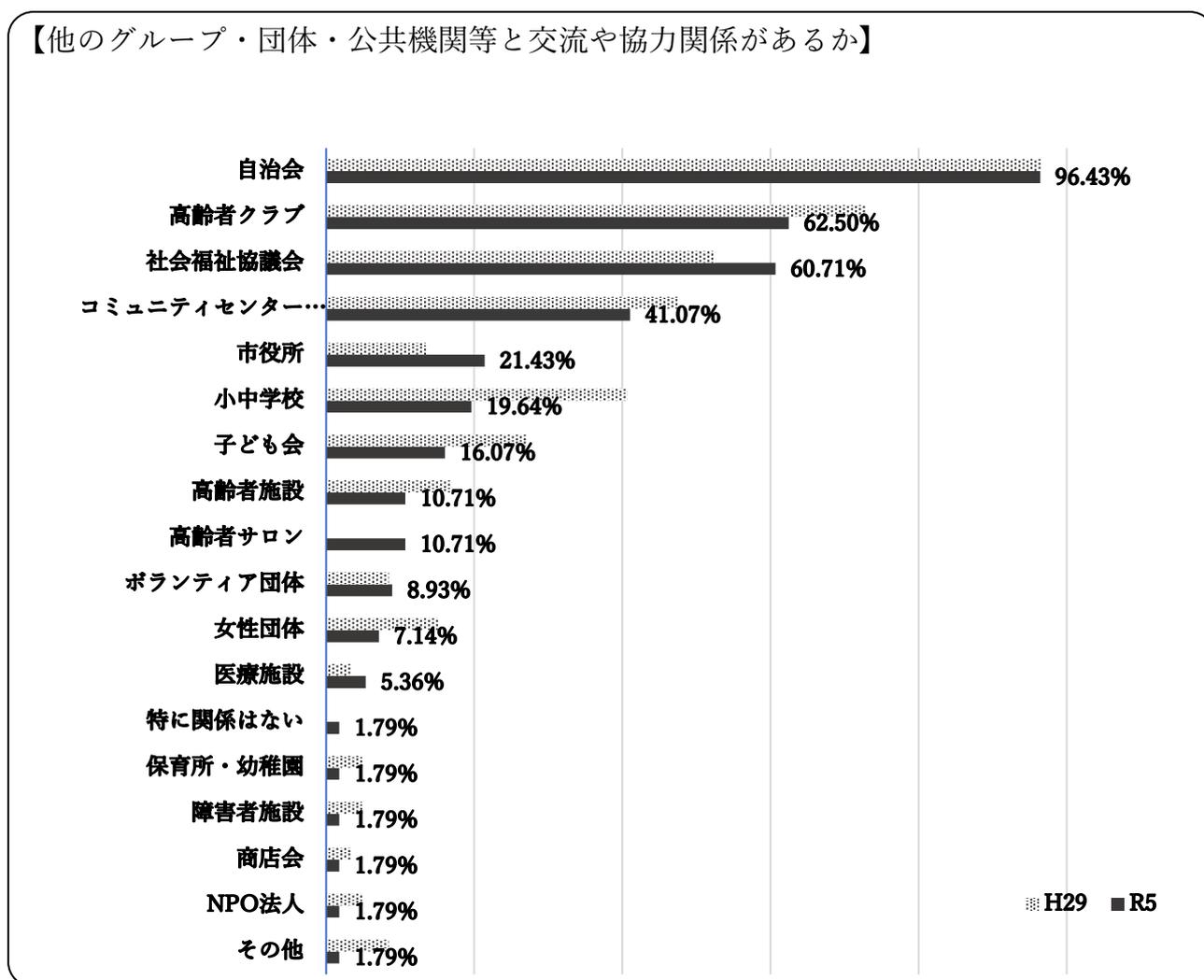
問5 中学区毎の内訳

全体的に「週2～4回」が一番多く活動しており、続いて月に数回程度の活動となっている。5年前と比べても活動頻度は大きな変化はない。「週2～4回」37.29%→32.14%

回答	中学区									合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜学園			
何年かに1回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
年1～5回	1	0	1	0	0	2	2	0	6	10.71%	
年6～11回	2	0	1	1	1	0	4	0	9	16.07%	
月1～2回	0	1	0	2	1	1	4	0	9	16.07%	
月3～4回	1	1	1	1	2	1	2	0	9	16.07%	
週2～4回	5	5	4	0	2	1	1	0	18	32.14%	
週5～7回	1	0	1	0	0	0	0	1	3	5.36%	
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1.79%	
未回答	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1.79%	

問6 貴団体では、他のグループ・団体や公共機関などと交流や協力関係がありますか。（あてはまるものすべて）

「自治会」が96.43%と大多数を占めている。次いで「高齢者クラブ」が62.50%、「社会福祉協議会」が60.71%と過半数を占めている。次いで「コミュニティセンター」が41.07%、「市役所」が21.43%と続いている。

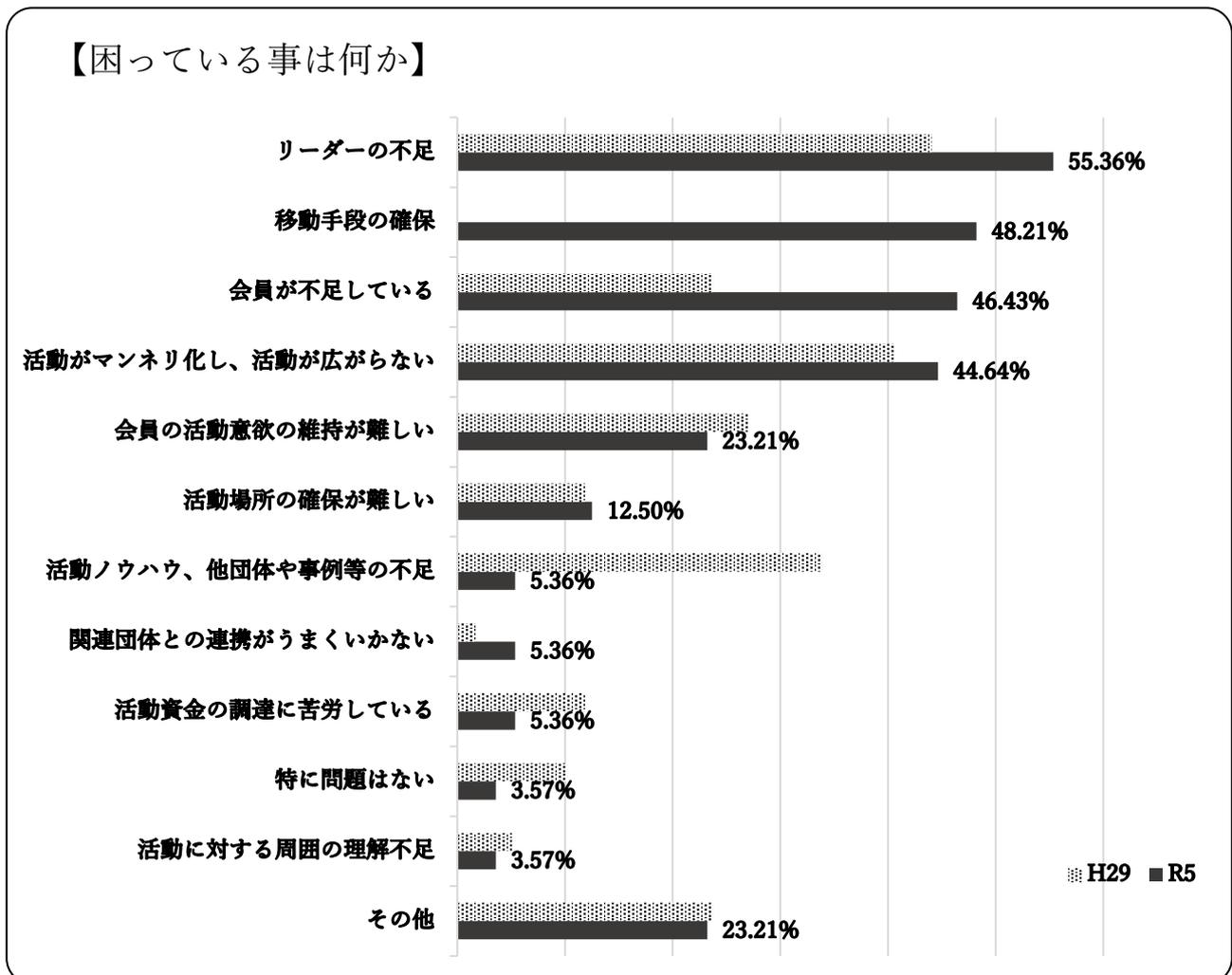


【その他】

二中地区高ク連

問7 貴団体の活動を行ううえで、困っていることは何ですか。（あてはまるものすべて）

「リーダーの不足」が55.36%と一番多い。次いで「移動手段の確保」が48.21%、「会員が不足している」が46.43%、「活動がマンネリ化し、活動が広がらない」が44.64%と続いている。一方「特に問題がない」は、3.57%となっている。

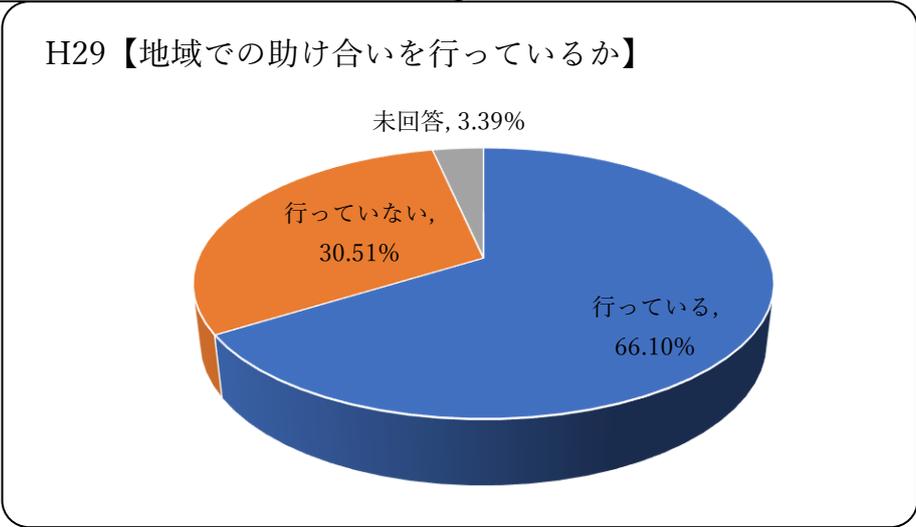
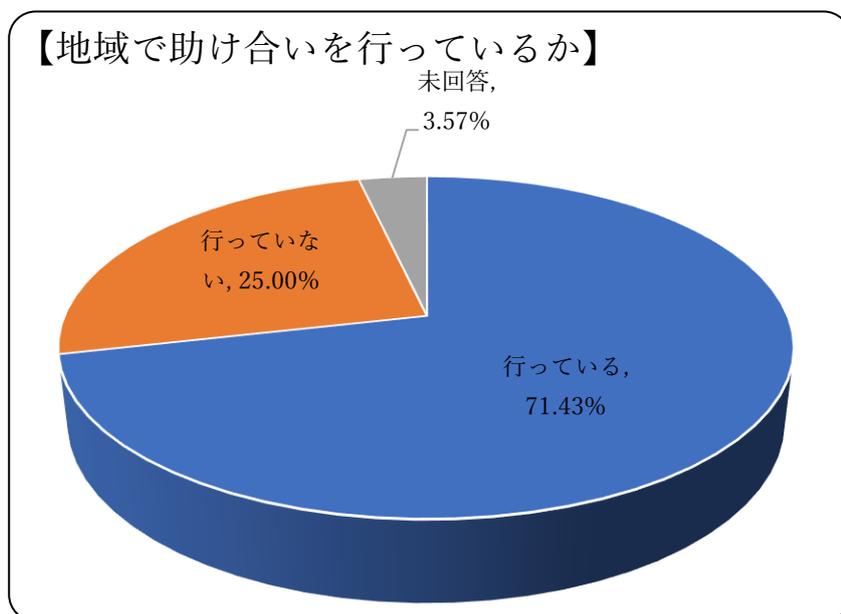


【その他】

- ・会員が高齢の為、役員のなり手が少なくなっている。
- ・後継者不足。4～5年で消滅する。
- ・活動内容によっては参加者が少ない場合がある
- ・70代の人が多く入会しない。
- ・高齢者の特性が出ている。…忘れものとか。
- ・活動参加率の低い会員の対策。
- ・会員の高齢化（80歳以上）により草刈り作業等の活動者が少ない状況
- ・コロナの影響で各種行事が停滞しているのも原因の一つか。
- ・入会者がなく会員の高齢化が進み、リーダーの後任確保が大変。

問8 貴団体は、自治会などと協力し、ボランティア活動や地域での助け合いを行っていますか。

「行っている」が71.43%と多数を占め、「行っていない」が25.00%となっている。



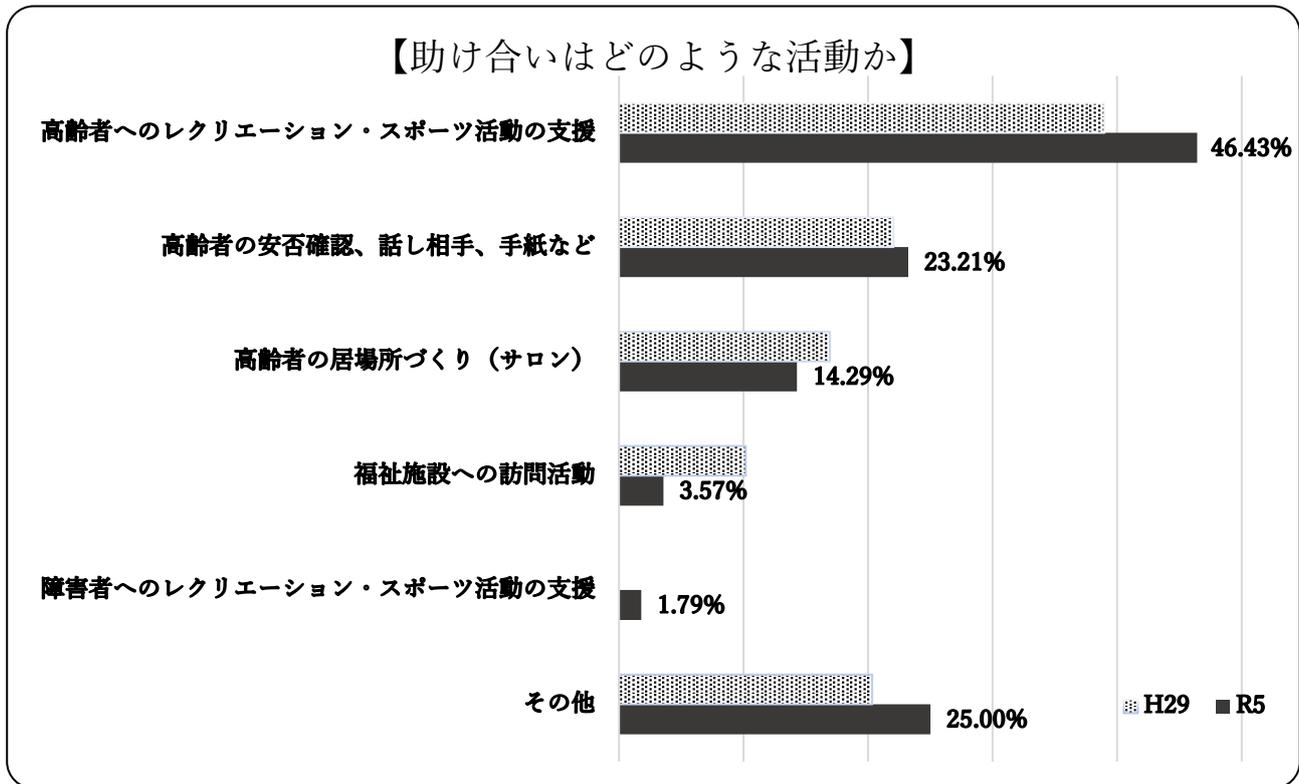
問8 中学区毎の内訳

全中学区で「行っている」が一番多いが、「行っていない」学区も全体の1/4となっている。

回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜学園		
行っている	4	6	6	2	7	5	10	0	40	71.43%
行っていない	5	1	2	2	0	0	3	1	14	25.00%
未回答	1	1	0	0	0	0	0	0	2	3.57%

問 8-1 それはどのような活動ですか。（あてはまるものすべて）

「高齢者へのレクリエーション・スポーツ活動の支援」が 46.43%と一番多い。次いで「高齢者の安否確認、話し相手、手紙など」が 23.21%,「高齢者の居場所づくり（サロン） 14.29%,と続いている。



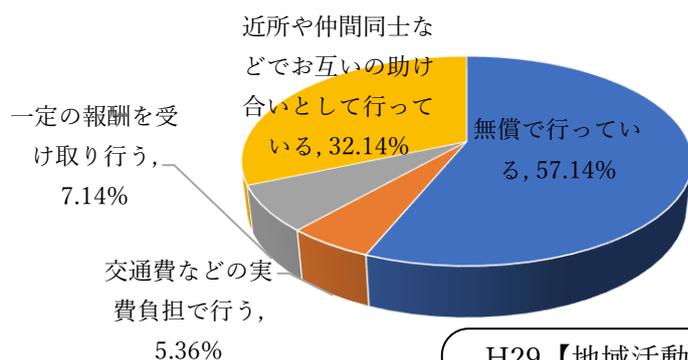
**【その他】**

- ・ 防犯パトロール
- ・ 道路除草・公園花植
- ・ 小地域ネットワーク（自治会より委嘱）
- ・ 小学生下校見守り（愛の目運動）
- ・ 神社境内の清掃作業
- ・ 月 1 回の地域のゴミ拾い
- ・ 介護施設、小学校支援学校への手造り雑巾の寄贈事業
- ・ 共同農園作物やお花の配布
- ・ ひとり暮らし、高齢者世帯に対する除草、剪定等、地域の環境整備・ゴミ出し支援、庭木の手入れ、除草作業
- ・ 公園の清掃及び刈払ゴミ類の袋詰めを自治会と一緒にこなっている。

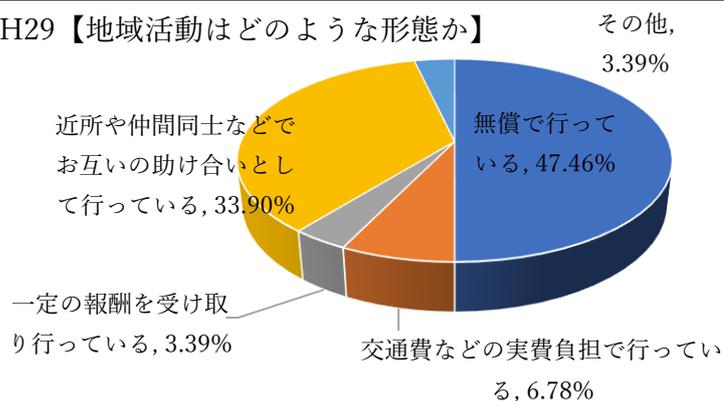
問9 貴団体がやっている地域活動（問8-1で○をつけた活動）はどのような形態ですか。（あてはまるものすべて）

「無償で行っている」が57.14%と一番多い。次いで「近所や仲間同士などお互いの助け合いとして行っている」が32.14%,「一定の報酬を受け取り行う」が7.14%,「交通費などの実費負担で行う」が5.36%と続いている。

【地域活動はどのような形態か】



H29【地域活動はどのような形態か】



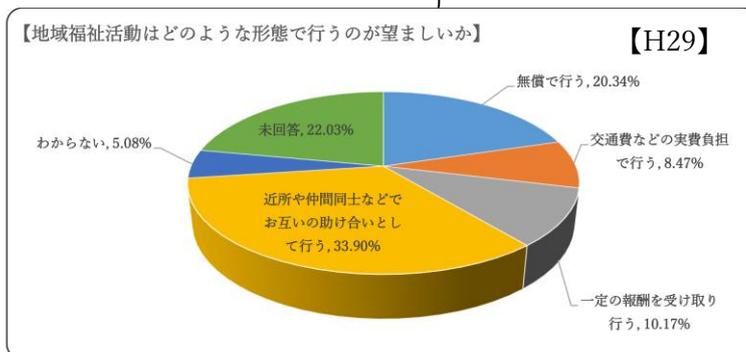
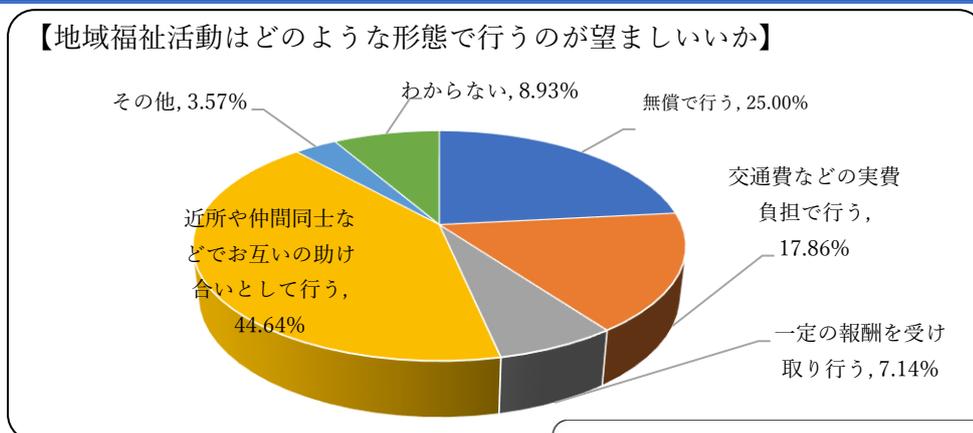
問9 中学区毎の内訳

「近所や仲間同士などお互いの助け合いとして行っている」と「無償で行っている」が全体を通して多く行っている。5年前も「無償で行っている」が一番多かった。「47.46%」→「57.14%」

回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜学園		
無償で行っている	4	5	3	0	5	4	11	0	32	57.14%
交通費などの実費負担で行う	0	0	0	0	1	0	2	0	3	5.36%
一定の報酬を受け取り行う	0	1	1	1	1	0	0	0	4	7.14%
近所や仲間同士などお互いの助け合いとして行っている	1	4	1	1	4	0	7	0	18	32.14%

問10 地域福祉活動を行う場合は、どのような形態で行うのが望ましいと思いますか。  
 あてはまるものを1つ選んでください。

「近所や仲間同士などお互いの助け合いとして行う」が44.64%と一番多い。次いで「無償で行う」25.00%、「交通費等の実費負担で行う」17.86%、「一定の報酬を受け取り行う」が7.14%と続いている。



問10 中学区毎の内訳

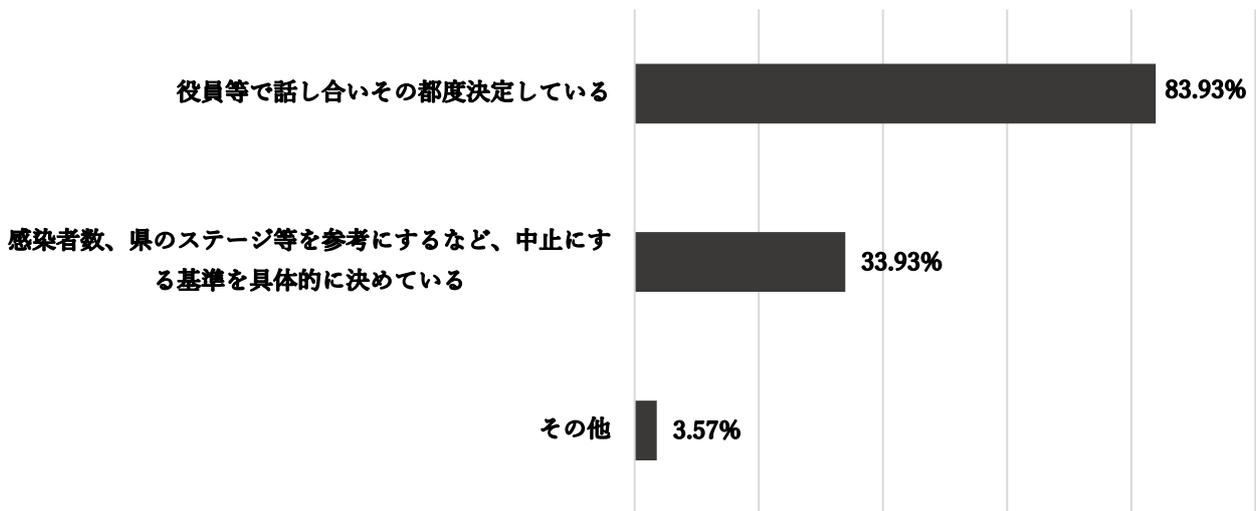
全学区で考えは様々だが、「近所や仲間同士などお互いの助け合いとして行う」と「無償で行う」が全学区で望ましい形態となっている。

回答	中学区								合計	割合
	一中	二中	三中	佐野	大島	田彦	那珂湊	美乃浜学園		
無償で行う	3	1	1	0	2	3	3	1	14	25.00%
交通費などの実費負担で行う	4	0	2	0	0	0	4	0	10	17.86%
一定の報酬を受け取り行う	0	2	0	0	1	0	1	0	4	7.14%
近所や仲間同士などお互いの助け合いとして行う	1	4	3	2	5	2	8	0	25	44.64%
その他	0	0	0	1	0	0	1	0	2	3.57%
わからない	1	0	3	0	0	0	1	0	5	8.93%

問 1 1 コロナ禍においてイベント中止の判断は何を基準にしておこなっていますか。

「役員等で話し合いその都度決定している」が 83.93%と一番多い。次いで「感染者数、県のステージ等を参考にするなど、中止にする基準を具体的に決めている」が 33.93%と続いている。

【コロナ禍においてイベント中止の判断は何を基準としているか】



【感染者数、県の対策ステージ等を参考にするなど、中止にする基準（例：県の対策ステージ〇となったら中止）を具体的に決めている。】

- ・関係機関から活動中止の指示有り。
- ・市老人会からの指導。
- ・高齢者の外出禁止を基準にしている。
- ・県や市の情報をインターネット等で確認。
- ・訪問する人と訪問される側の健康が第一に考える。役員会判断。
- ・感染者数増、死亡者数増、高齢者の感染数考えて。
- ・身近に感じたとき。
- ・市において集会所利用やクラブの活動への制限を呼び掛けていることを参照。
- ・県の緊急事態宣言時は活動中止。但し定例会月 1 回は時短で実施。その他感染状況により対応。
- ・社会福祉協議会の事務局の通達で中止してます。例えば高齢者クラブ連合会のスポーツ大会。

【その他】

- ・県のステージと感染者数を参考に役員等でその都度決定。
- ・市からの連絡で集会所が使用できなくなったとき。

問12 コロナ禍以前と比較して、貴団体の活動に変化はありましたか。（自由記載）

---

◆高齢者クラブ活動（32件）

- ・カラオケが実施できなくなっていたが、しあわせプラザ内で実施できるようになった。
- ・レクリエーション、カラオケの活動が少なくなった。
- ・会員間の交流・情報交換が少なくなった。
- ・行動の回数が減少した。
- ・集会場がないため集まって活動することが以前からない。食事会や旅行が主だったのでコロナの関係でその機会が減った。
- ・グラウンドゴルフ、民謡クラブ、ウォーキング、食事会等、会主催の行事を休むことが多く、活動内容の縮小が余儀なくされた。
- ・コロナ禍によりイベント中止が重なり、会員間の交流が少なくなり、その上に高齢化が進み、一部の活動だけになっている（輪投げ、グラウンドゴルフ）
- ・屋内で行う活動は全て中止した。
- ・中止せざるを得ない事業があった。
- ・コロナ禍において、集合して行う行事（密になる）を中止とした。
- ・高齢者の感染が多いところから人との接触を避ける為屋内での活動を全て中止している。なお、屋外活動として、体力増進の為、グラウンドゴルフを実施中。
- ・役員会をはじめ清掃活動や日帰り・宿泊等の研修事業が殆ど実施していない。
- ・新年会や総会などの会合が中止となり活動が停滞している。
- ・各シーズン毎の茶話会、日帰り旅行等集団での行動を中止している。
- ・感染者が多くなると予定していた活動が休止になった。
- ・コロナ禍になってからは、8割方行事は中止となり、活動が停止状態にある。
- ・全員参加の活動がなくなった。
- ・施設の利用制限があり、会員のコミュニケーションの場がなくなった。80才以上が90%以上で地域から出て行う行事には参加者が限られる。
- ・活動中止、役員会のみ。敬老会のまんじゅう配布のみ。コミュニケーション不明。
- ・移動手段がなく参加できない役員が増加。
- ・参加者の確保が難しい。会員家族の賛同が得にくい。
- ・福祉バス利用しての研修、実施できず。
- ・会合の時の机の並べ方。
- ・若干活動を停止した時期はあるが、今は通常の活動に戻っている。
- ・行事を実施するにあたり、通知はするがコロナ感染を心配して深くは勧誘できない。
- ・現状、食事会などの参加者が若干少ない程度で大きな変化はない。
- ・高齢者感染者でその都度決めてる。
- ・会員見廻りとして茶菓子の配布年2回（時に3回）行っている。
- ・コロナ禍の問題で、感染を気にして活動を考えている。
- ・屋外活動は主に現在まで会員の感染者は確認されていない。
- ・設立1年未満の組織であるが、コロナ禍の影響は大いにあると思う。
- ・変化はない。動けないだけ。

◆自治会その他との活動（5件）

- ・自治会の行事としてグラウンドゴルフ大会が2～3年中止している。
- ・地域の他の団体との共同で行う活動が困難になった。
- ・多人数での集会、行事は極力延期・中止をしている。実施する場合、期日、施設、場所の選定調整を行っている。又、講演会等開催時の会場での感染防止対策を図っている。
- ・自治会の行事が制限され活動出来なかった。
- ・自治会との連携で実施していた行事（三世代交流会・グラウンドゴルフ大会等）の中止となります。

◆高齢者クラブ加入促進(1件)

- ・高齢化に伴い、会員の自然減少が多くなった。

◆その他(1件)

- ・特に変化はない。

1 3 貴団体が今後取り組みたい地域活動はどのようなものですか。自由に記入して下さい。  
(現在取り組みは始めていることでも結構です。)

---

◆高齢者クラブ活動強化 (13 件)

- ・会員の交流を通しての健康維持。
- ・コロナ禍以前に行っていた活動と同様なもの。
- ・スポーツ行事や福祉バス研修等へ会員の参加率を高めること。
- ・活動に参加する会員は決まってしまうと新しく参加出来るよう呼びかけているが、なかなか参加しないので新しい活動に取り組めない。
- ・人とのコミュニケーションをはかり地域を豊かにする仲間作りをすすめる。
- ・新しいスポーツの取組み。
- ・会員の全員参加する活動は不可。少数で活動の内容を検討する。
- ・屋内での文化活動。(講演会等)
- ・老人ホーム慰問・ボランティア活動(カラオケクラブ⇒音楽の力で元気にしたい、輪投げ⇒老人ホームで輪投げをやっているところを私は耳にしていないので)
- ・人生最後のクラブ活動として、生き甲斐のあるものにしたいと思っている。体操など。
- ・会員の高齢化に伴い、地域活動にまで届かない。会員相互の交流を深める程度。
- ・学童、登下校時の見廻り。
- ・新しい会員とグループを作り少人数での活動。

◆高齢者クラブ加入促進 (3 件)

- ・クラブ以外の高齢者(自治会地域内居住者を含めての)高齢者サロンの活動。同じ地内に暮らしている高齢者との交流を図る。
- ・リーダーの確保。
- ・近所の高齢者に声をかけて人員の獲得(会員の募集)

◆高齢者居場所作り (5 件)

- ・集合場所がないので今後確保したい
- ・地域の人が参加できる「ふれあいサロン/合唱」の拡充
- ・会員(以外でも)が自由に参加してくつろげる「フリーサロン」を考えている。
- ・高齢化しており、活動が制限され(デイサービスなどに行かれる)中、サロンの集会を増やしたいと思う。
- ・コロナ禍により密になることを避けている現在、体の不調を訴える会員をどのような活動の輪の中に入れたら良いのか悩んでいる。サロン形式の活動など希望したい。

◆自治会との協力 (6 件)

- ・自治会、民生委員児童委員協議会とタイアップして「高齢者(一人暮らし)の安否確認、話し相手等の訪問」
- ・自治会の補完的組織と位置付け、連携を密に、主体的に高齢者への支援強化・充実を図ることを目的に活動中。
- ・福祉については、自治会(社協支部)と話し合い、会員相互、近所との高齢者(ひとり暮らし)

見守りをしたい。

- ・新しい住宅、住民が増加している。当クラブの活動もコロナウイルスの解消に合わせて、増加するので、新会員加入の運動、活動を強化する。(問題点あり) 自治会館・活動場所
- ・小地域ネットワークの継続充実。
- ・自治会との話し合いで入会者募集する。

◆環境美化運動 (3件)

- ・集会所の駐車場の花壇の手入れ
- ・環境美化、花壇整備をもっと広くと思うが、動物特に猫の保護活動等。会員の高齢化も進んでおり、広げる事は難しい状況である。
- ・公園・神社境内の清掃。

◆日常生活支援 (1件)

- ・生活支援が必要な人を見つけ、支援・手助けを行う。高齢者の一人暮らし、二人暮らしの世帯が多くなっている。

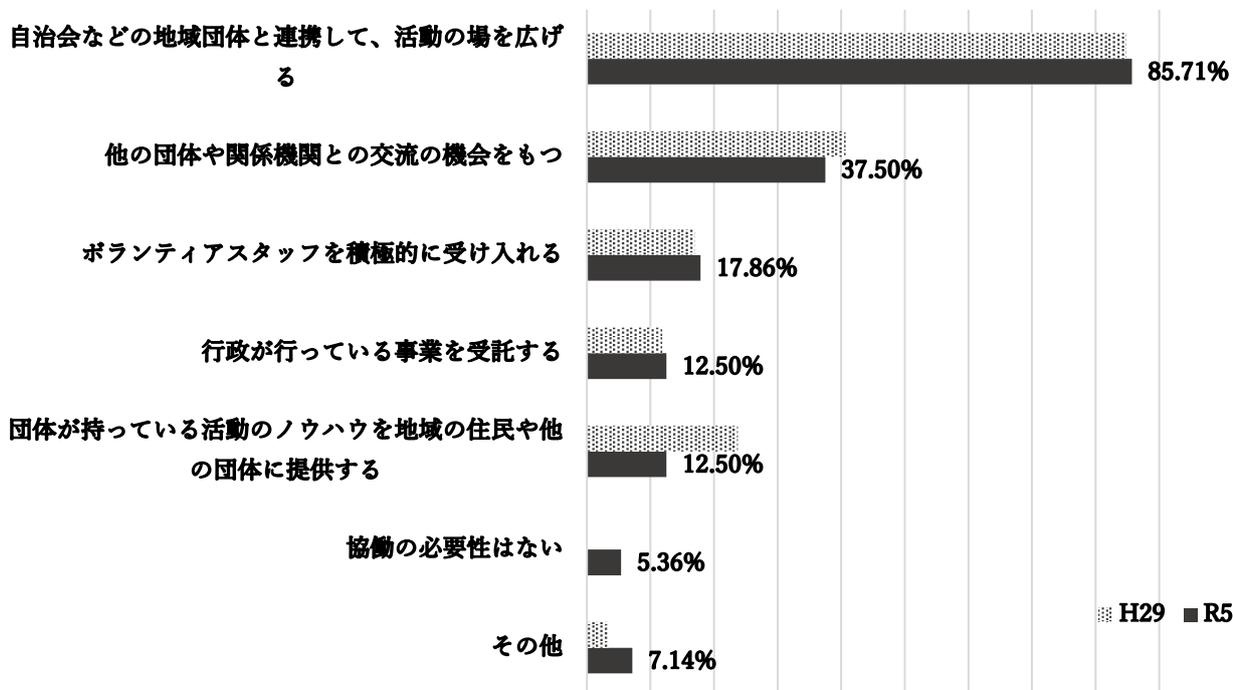
◆その他(4件)>

- ・高齢のため活動は特に考えていない
- ・活動が感染で少なくなった。仲間が感染したらこまるから。
- ・平均年齢が高く (83才) 地域活動は無理です。
- ・新たな活動は特になし。高齢化で参加者少なく活動は無理。

問14 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進めるためには、様々な主体（住民・事業者・ボランティア・NPO 団体・行政など）が協働していくことが求められています。貴団体の取り組みとして、今後どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべて）

「自治会などの地域団体と連携して、活動の場を広げる」が 85.71%と多数を占めている。次いで「他の団体や関係機関との交流の機会をもつ」37.50%、ボランティアスタッフを積極的に受け入れる」が 17.86%、「行政が行っている事業を受託する」と「団体が持っている活動のノウハウを地域の住民や他の団体に提供する」が 12.50%と続いている。

### 【今後どのようなことが必要か】



### 【その他】

- ・現在の状態で維持出来れば良い。
- ・若手の入会者があればいいが。
- ・健康寿命の長寿化のため 75～85 才をターゲットにした活性化。
- ・他からの経費等の補助。例) パソコン購入費補助など

問15 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくための地域福祉の推進についてご意見ご希望がありましたら、どんなことでも結構ですので、ご記入ください。

---

◆たまり場・話し合いの場（10件）

- ・農林地帯なので農作業が多忙でなかなか前向きになれないと思います。関係機関と交流の機会を多くつくり話し合う場を設けることが大切（コミュニケーション不足）。
- ・近所同士の高齢者が気軽に声をかけることが出来る環境の整備。
- ・イベント等への参加が出来るよう環境を作る。
- ・個人や自分の考えをしっかりと持つことも大切と思う。
- ・とにかく話し合い。
- ・ケンカ・よそ者扱いをしない。
- ・信頼されるリーダーとなれる人材の発掘・育成。
- ・福祉ネットワーク拡充のために地域の長を含めた意識の向上。
- ・高齢化の進む地域では健康な高齢者が困っている。高齢者を手助けする取組が各地で浸透してきている。より広げて行く必要性を感じる。
- ・近距離で徒歩で行けるたまり場（サロン）的居場所があると、健康に過ごす力にもなれるのではないか。

◆助け合い活動（8件）

- ・超高齢化時代を迎え高齢者の困り事や悩み事などの問題解決に自治会を中心に生活支援・たすけあい体制の構築が（行政のノウハウを提供）出来ればと思う。自治会も未加入者問題。そして高齢化が進み後継者不足があり現所維持が精一杯かな！
- ・自治会、高ク連、コミセン他で地域福祉について種々検討しているので、単位クラブ自体でやることはないと考えている。
- ・年齢構成は80代が多く、60代70代が少ない。2代目は40代後半～50代が主で親と同居していないのが多数。他への支援活動は無理です。
- ・一人暮らし、老々暮らしの高齢者に対しクラブ会員として支えることがあれば、意見交換（話し合い）の機会をもちたい。（行政と地域内高齢者福祉のパイプ役として）
- ・困った時に気軽に頼めるよう、日頃の付き合いを大切にする。
- ・地域にある各種団体等の連携を更に密にし、協同して取り組んで行く事業を増やして行くこと。そうすれば今以上に効果的、効率的に事業が推進して行くことと思われる。これからの問題として、誰もが通る道として、フレイルから介護1,2～と進んでいくと思われませんがその対処法と行政からも指導また、サービス（施設の紹介）等を講演会を（地域の皆さんと）共に学んで行きたいと考えています。
- ・趣味やスポーツ（運動）の小さなサークルを作って会員交流をする。社協支部（各自治会）の活動を確立し、高齢者クラブ、民生委員等を含めた取組が必要では?!私共のクラブでも、高齢化と共に、シングルが増えています。地域で解決する事例を増やすこと。地域のニーズを洗い出し、活動を仕分けることから始めることかな！
- ・自治会加入率が低く、近隣の名前も顔もよくわからない。又、多くの人が昼間仕事をしていると、地域福祉の推進は難しい。

#### ◆会場（1件）

- ・以前は自治会が所有していた集会所を利用していたが、解体した為利用出来ず、湊公園のふれあい館を利用したいと思っています。

#### ◆自治会民生委員との協力（3件）

- ・一人暮らしの高齢者の見廻り等民生委員と協力して実施。
- ・行政職員（市職員）、自治会役員等の退官・退職後について、地域福祉の経験者として、高齢者クラブに入会される様、指導していただきたい。
- ・自治会との交流がもっとほしい。

#### ◆高齢者クラブ（8件）

- ・高齢者クラブの問題点は対象者層の組織率が低すぎる事。どのように参加者を増やすか。
- ・高齢者クラブ入会者が皆無です。会員人数も年々減っている（役員を引き受ける人も）。
- ・お先真っ暗ですね。年寄りが増えていくのに高齢者クラブに入る人は居ない。年々減っていく。うちのクラブも私が最後の会長となるでしょう。若い人は地域をどう見てるのか。地震が起きないとダメですね。10年前の地震の時はまとまっていた。どうしたら地域が活性化するか。
- ・高齢者クラブって「健康」「友愛」「奉仕」の3本柱が活動の根本（古い今は？）。地域の福祉活動に地域のニーズが異なると思います。
- ・体の動けない会員が増えてきている、どう対応していくか（ボランティアスタッフの応援が必要？）
- ・各活動に参加したい意欲はあるようですが、チームリーダーとして参加する意欲は無いし、これがクラブ存続にも影響している。会長及び役員を受けるとしたらクラブを辞退するというのが現状。
- ・1番の絶対条件は近所力（向こう三軒両隣の支えあい、助けあい、つながり）の維持・向上と考える。⇒事業費内の柔軟性の拡大、例えばクラブ主催事業の季節行事は近所力を高め大事な行事。
- ・入会促進活動を実施しても全く入会者なし。高齢化が進み地域福祉活動は困難。

#### ◆移動手段（4件）

- ・高齢者の移動手段がない。
- ・高齢者は他人の為でなく自分のために動き、参加する場合、アゴ・アシつきでないと参加しない。
- ・高齢者の平均寿命が延びたと言え、反面体力が衰えている。そのような中での活動には限界がある。例えば、各イベント会場への足（交通機関）の問題、特に近年高齢者の交通事故（自動車・自転車・歩行者）が多発しており送迎に苦慮している。
- ・自動車運転免許返納者に対し、交通手段の確保としてスマイルバスの増便等など。

#### ◆その他（7件）

- ・年々フレイルになる傾向を考える時。自動車運転のマナー研修会をお願いしたい。
- ・福祉バスの利用時間を5時30分までに延長してほしい。
- ・コロナ終息を願って、多くの集会（食事会等）を計画したい。
- ・自治会加入率が低く、近隣の人の名前も顔もよくわからない。又、多くの人が昼間仕事に出かけている事等を考えると、地域福祉の推進は難しい。

- ・団地の現況は高齢化が進み子供達の元気に走りまわる姿が見られなくなり、新入居に自治会加入の推進を考えていただきたい。
- ・自治会館も設備品等が多くなり、当クラブの活動時には機材の移動等がかなりの負担増となっている。自治会館の拡大を希望。
- ・長男が、脳梗塞で入院しており（障害者 1 級）、長女を成年後見人として活動させています。市の成年後見人の講話落語会に感謝しています。